

かがアード

KAGAWA UNIVERSITY AD Vol.036 2022 SUMMER

36

THE 36th. ISSUE

かがアード

KAGAWA UNIVERSITY AD Vol.036 2022 SUMMER

香川大学広報室 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 087-832-1027 <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

「ここからはじまる
創造」と「未来」



未来をデザインする教職学協働

好きになる 楽しくなる キャンパス

学生、教員、職員、あらゆる立場の人が知恵を出し合えば、
思いもよらないアイデアが飛び出してくるかもしれません。
目指すのは、「ここに来てよかった」と笑顔になれる大学です。



SPECIAL TALK

KAKEHI YOSHIYUKI
LEE SAEROM
KOTANI MOMOE
KAWAIKE HIROFUMI



企画総務部
総務課長 川池 拓史



医学部看護学科4年生
(高松高校出身) 小谷 茂々笑



創造工学部創造工学科 創発科学研究科助教
(専門分野)感性工学・ハタシマインギ
(主担当コース)造形・メディアデザインコース 李 セロン



香川大学長 寛 善行

違うフィルターを持って、同じ目標を目指す。
何が飛び出すかわからないから、面白い。

李 韓国は完全に学歴社会で受験戦争が激しく、高校では部活もさせてくれません。大学に入っても日本と違って相対評価なので、熾烈な競争が続きます。そんな大学時代、初めて日本に来た時、授業中にゲームで遊ぶ大学生を見て「ここには個人の意志で選択できる自由な教育があるんだ」とカルチャーショックを受けました。決して悪い意味ではなく、私も自分で選択して生きたいと思ったんです。そこで初めて、教育者を志しました。異文化から自分を見つめ直すきっかけを日本でいただいたことが、今も私の根幹にあります。「みんなが香川大を好きになって、学生も職員も教員もずっと幸せに過ごしてほしい」という壮大な夢

川池 私も学内執行部と各学部の橋渡し役として、「香川大だからこ

と教えられる大学であってほしいと思います。

きるかな...と思っている人の背中を「あなたにもできる」と押し、香川大に来てよかった!という人たちの増やしたい。教職学協働も、私からすると「まさにそれだ!」と思っています。

ののために、私が人と人の架け橋となれるよう、協働は日々意識していることです。

そ、学生や教員と一緒に面白いことができる」と感じたことはたくさんあります。それこそ「ちょっと

悩むより、アクションを起こそう

「愛される」大学づくりには、学生目線が不可欠

寛 まず自己紹介をしましょう。川池さんは現在、本学の総務課長ですが、その前はIT系の企業に勤めておられたとか。

小谷 私は医学部看護学科4年生ですが、大学でやりたいことがまだまだあるのに大学生活が足りない!と思って、今年4月からポジティブ休学中です。

野や技を寄せ集めて一つの目標に向かうことを指します。協働において一番大事なのは「何を指すか」ですが、皆さんは今、それぞれの立場で何を指していますか?

川池 関西のIT企業に3年ほど勤めました。私が卒業した頃は超就職氷河期かつITバブル期で、経済学部卒だったのでITリテラシーは就職してから身につけたものです。関西や東京で、本学でも採用実績がある会計システムへの導入に携わったりしていました。いつかは故郷の香川に帰ろうと決めていました。28歳で会社をやめて、地元でどんな仕事をしようか考えた時、そういえば大学のことは学生の時しか知らないし、香川で腰を据えて働けな

川池 私が寄り道した1年も、それなりに楽しく過ごしていましたし、何にも縛られない時期が一生のうちにあってもいいんじゃないでしょうか。

小谷 医学部はちょっと専門学校みたいなイメージがあって、入学当初は正直ギャップを感じていました。でも、幸町キャンパスでいろんな活動に携わり、看護学科生がこんなに役立ってるんだ!と気づくにつれて、そのギャップは狭まっています。私は香川大の応援団長を自称して「にもにも」というYouTubeチャンネルを運営しています。テーマは「一歩踏み出すきっかけをあなたにも」。私にもで

李 私は国立ソウル科学大学在学中に1年間に日本語の勉強に費やし、3年生の時に交換留学生として北海道の室蘭工業大学で1年過ごしました。いったん韓国に戻りましたが、もうちょっと勉強したいなと思って、再び室蘭工業大学で修士から博士研究員まで7年ほどを過ごし、香川大に来るまでは島根の松江工業高等専門学校で教えていました。韓国でも理系女子は珍しく、私の代も工学部約70人の中で女性は6人、博士課程まで終えたのは私だ

寛 今回のテーマは「教職学協働」です。「きょうどう」には「共同」「協同」「協働」の3種類があり、ここで

小谷 立場は違えど、ほぼ僕と同じことを考えていらっしやる。突き詰めれば、周囲には大学を好きになっってもらい、内部で働く人には楽しく過ごせる場所でありたい、に尽きますね。小谷さんは看護職を目指して看護学科に入学した学生として、どう思っていますか?

挑戦できる場所がここにはある!

教職学協働の実績



共に創る
学生イベント

幸町キャンパスでは毎年4月に新入生歓迎祭、10月に香川大学祭を開催しています。企画・運営については、H.O.P.(大学祭実行委員会)の学生と各学部等の教員や学生生活支援課職員が協力して行っています。どちらも学生主体のイベントであるため、H.O.P.がメインで企画・運営を行います。教職員は、企画・運営内容の精査、予算面での調整、準備や運営の補助等をし、H.O.P.の活動をサポートしています。コロナ禍の影響で例年通り実施できないことが多いため、その都度双方で話し合いを行い、開催に向けて準備を行っています。



日本一小さな県から世界を守る
サイバー防犯ボランティア「SETOKU」

「SETOKU(SECurity Team Of Kagawa University)」は、サイバーセキュリティ分野の「安全・安心な地域社会の実現」に向けて結成された、香川大学生のボランティア団体で、香川県警察や他機関と連携して香川大学ならびに地域における①犯罪被害防止のための教育活動、②広報啓発活動、③サイバー空間の浄化活動を中心に取り組んでいます。特に、地域の小学生を対象として学生が講師となり授業を行った犯罪被害防止のための教育活動はメディアでも大きく取り上げられました。SETOKUの活動は学生が中心となり、依頼に応じて企画立案から実施まで行っています。全体的な取り纏めの他、依頼元との交渉については教員が行っており、職員はメディア展開などで事務的にサポートしています。



香川大学のDXは私たちに任せろ！
～学生中心のDX推進チーム「DXラボ」～



香川大学は、2021年7月にDX推進戦略である「デジタルONE戦略」を策定し、学内全体でDXを推進しています。その一環として、創造工学部及び創発科学研究科で情報技術を学ぶ学生を中心とするDX推進チーム「DXラボ」を組織し、学生・教員・職員が協働してデザイン思考に基づいた、調査やシステム内製開発を行っています。

「DXラボ」では、教職員や学生の目線で業務を俯瞰して調査する「業務UX調査」と、学生がファシリテーターとなり業務を改善するためのアイデアを創出する「業務改善アイデアソン」を通して多角的に業務のありかたを見直し、デザイン思考を実践しています。また、業務部門と協働による「システムの内製開発」や、教職員を対象とした、学生が「DXラボ」や授業等で培ったノウハウを伝える「業務システム開発ハンズオン」を開催し、教職員自らが業務に関するシステム開発を行っています。このような様々な取組を行うことで学内の業務改善やDX推進を行っています。



極め付け四国鉄旅
～さぬきの文化探訪～

香川大学とJR四国は、共同研究による連携事業として「地域の魅力の再発見」と「地域に貢献する人材育成」を目的とした「極め付け四国鉄旅」を企画しました。

県内を探訪し、地域の文化や人々とのふれあいを通して魅力を発見する旅です。貸切列車内において、香川大学の教員から地域の歴史や文化を学び、旅先では学んだことを肌で感じるができます。現地の案内や弁当のデザインなどは経済学部学生プロジェクトの学生が関わっており、全体の計画や学生のアイデア実現のサポートを教職員が行っています。



ガラス作家・杉山利恵さんの作品「Blue Birth」

問題を「解く」よりも「デザイン」する力を
寛 今回「デザイン」する力を
研究所(1D研)は、違うフィルター
を持つ人たちが風通しよく議論で
き、新しいアイデアを抽出すること
で、いろんなものが生まれるよう
願ってつくりました。1階にはガラ
ス作家・杉山利恵さんの作品「Blue
e Birth」が飾ってあり、「さま
ざまな人の化学反応が起こってイ
ノベーションが生まれる」1D研の
理念を象徴しています。庵治石(花
崗岩)とガラスを混ぜることで生ま
れた美しいブルーが印象的な作品
ですが、なぜこういうきれいなブル
ーになるのか詳細はわかってい

ない、偶然的な産物でもあります。ま
さしく1D研にふさわしい作品だと
思います。
セロン先生も関わっておられる國枝
孝之先生のプロジェクト・中野武宮
のデジタルアーカイブには、非常に
可能性を感じますね。すべての史料
をいったんデジタル化して再構築す
ると、思いもよらない事実がわかっ
て、画一的な解釈になりがちだった
今までは全然違うものが生まれる
んじゃないかと。単に「古い貴重なも
のをデジタル化して保存しよう」と
いうだけのプロジェクトではないと
ころに魅力があります。
李 プログラミングという手段・手
法で与えられた問題の解を求める
のは得意ですが、問題探しやデザイ

ンからもつくりを進めるプロセ
スは、デジタルアーカイブを通して
勉強している途中です。何が正解か
わからないし、正解の基準も自分た
ちで決めないといけないし、どこま
でやれば十分なのかも自分たち次
第。ゼロから何かを生み出すのは大
変だと日々思っています。
寛 与えられた問題の回答を書く
のが受験だけど、社会では「何が問
題か」を見つけて本質を見極めら
れる人を世界中が求めています。本
学もそういう人材を育てる挑戦を
しています。まさにそのための教
職学協働です。1D研と同時期に、
文系と工学系の研究科が完全に一
体化した創発科学研究科という大
学院をつくりました。「創造」とは
少し意味が異なり、どっちへ飛び
出すかわからないけれどボンと生
まれる別のアイデア、それが「創発
(emergence)」です。様々な
専門領域の先生方が起爆剤になっ
て、多少不協和音があってもその
方がエネルギーになるんじゃない
かというくらいユニークな大学院
です。今その博士後期課程をつく
ろうとしています。セロン先生が
経験してきた博士課程とはかなり
雰囲気が変わるでしょうね。
李 自由で、自ら問題を探す課題が

多くて、分野の連携が密で、私が知
る工学部とは本当に違いますね。自
分の興味次第でどの授業を選択し
ても良いし、学生が羨ましいなど。
造形メディアデザインコースの先
生方は「以前は」という言葉を口に
しません。「前は前、これからで
しょ」と、新しさを追求します。エン
ジニア、メディア、プロダクト、ソ
リューション、それぞれ分野が違う
先生方が一つのコースに集まって、
ぶつかり合いながら新しいものを
つくって、学生に最善の回答を提供
し、共感共有することを目指して
いるんです。そういう環境で学ぶ学
生たちはとても優秀ですから、去年
卒業した学士1期生たちが、社会で
自分の力に気づくのが楽しみです。
私は感性工学とデータマイニング
を専門に、人間の感性を数値化して
ものづくりに活用する研究をして
いますが、データを収集する場や私
の研究を用いてものづくりをする
場が「つながる」ようになりました。
研究者としても、領域が違うからこ
そ合致して、一つの目標に向かって
力を合わせていける環境があると
感じます。

寛 セロン先生が考えていること
を別の角度から考えている研究者
が周りにいて、だからこそセロン先
生の研究も前に進むんですね。そう
いう環境は簡単にできるものでは
ないから、実はちょっと自慢したい
んですよ。教育は結局のところ
「人」どんなプレイヤーが集まって
いるかです。
小谷 学生として、私は1〜2年生
の時看護学科の問題点ばかり探す
タイプでした。ある時「視野が狭
い」と言われて、大切なのは問題を
追求して直すことより、問題そのも
のを広い視野で「デザイン」すること
ではないのかと気づいたんです。特
に幸町キャンパスの起業部の影響は
大きかったですね。
寛 医療の世界も今後「デザイン」が
重要になってくるでしょう。社会的・
環境的要因で病気が複雑化している
から、社会の仕組みの中で考える視
点を早いうちを持った方がいい。
せっかく総合大学なのだから、医学
部でもアイデアを創出・デザインす
る教育をもう少し進めたいとは思っ
ています。我々が教職学協働で目指
しているのは「香川大にきた学生が、
一人一人の人生を自分でデザインで
きるようになってほしい」というこ
ともきれいなね。自分のことは自
分の力でやっつけていこう、と。
小谷 だからこそ面白いんだと思
います。

Setouchi Triennale 2022

瀬戸内仕事歌 Work songs of Setouchi & 四国最古の民話オペラ「二人奥方」

香川大学作品「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト」

古い暮らしの原風景と、半世紀ぶりに再演するオペラ。
四国村ミュージアム・農村歌舞伎舞台で繰り広げられる
一期一会のインスタレーションに、客席が湧いた。

観客を舞台の世界にいざなう
時空を超え 甦った舞台



リスクを乗り越えて 迎えた本番の感動

瀬戸内国際芸術祭2022春会
期もいよいよ大詰め。5月15日、日
曜日。前日までの雨も上がり、香川
大学作品「瀬戸内の伝統生活文化・
芸術発信プロジェクト」が本番の
時を迎えました。

会場となった四国村ミュージアムの
農村歌舞伎舞台は、通常オペラを上
演するホールと違い備品や音響、照明
などの舞台設備がほとんどなく、前
日から機材を持ち込んで設営に追わ
れました。設備はすべて手動。あらゆ
るタイミングを人の手で合わせる確
認作業や、特殊なプロジェクターの試
写等、何度も現地で調整して本番に
臨みました。

プログラムは「瀬戸内仕事歌」と
四国民話オペラ「二人奥方」の二部
構成で、昼の部・夜の部の2回公演。
演者の声や音楽とともに、風薫る野
外舞台ならではの木々の葉音や鳥
の声、移り変わる空の風情までもが
観客の五感と感性を刺激し、そこに
いた人だけが共有できる極上のイ
ンスタレーションとなりました。芸
術監督・演出の若井健司教授は「空
間、環境、伝統的建築の価値、作品の

面白さが見事に調和し、素晴らしい
芸術感を生んだことに感動しまし
た。瀬戸内の自然と先人たちの暮ら
しを感じる会場での公演は、出演
者・観客・スタッフ全員が、タイムス
リップしたような時間を共有でき
るものでした。過去に戻り考えるこ
とは、現代との比較。この地で生き
た先人たちに想いを馳せ、生活環境
の再認識に繋がりました。特に仕事
歌が盛んに歌われた時代は、自然の
恵みを活用した人力による産業（農
業・漁業・林業など）が中心で、その
労力は計り知れませんが、仕事歌はそ
の重労働を支えた物の一つだと言
えます。そして、農村歌舞伎舞台で
行われた劇や歌舞伎、音曲などは、
当時の産業を支えた先人たちの疲
れを癒す娯楽であり、生活には欠か
せないものだったと思います。今回
の公演が先人たちを支えた芸術の
価値を改めて見直す機会となった
はずです。コロナ感染、悪天候等が
心配されるなか、いろいろ苦労はあ
りましたが、リスクを乗り越えた素
晴らしい公演となりました」と振り
返ります。

仕事歌の保存に取り組み各団体と
は初のコラボレーション。「これを
きっかけに世界に発信を」と意気込む
出演者の皆さんは、客席がどよめくほ
どの迫力で自然の中で働く人の姿、そ
こから生まれる音を再現しました。オ
ペラも野外劇場ならではの解放感に

あふれ観客はリラックスしていにし
えの世界観に入り込めた様子。「会場
の持つ雰囲気を持ち上げてくれ
たのかもしれない。観客が楽しそ
うで反応が良いと、演者のパフォー
マンスも向上します」と若井教授。
生活の中から生まれた仕事歌は、
感情表現とは別の目的を持つ「限界
芸術」の一つです。一方、オペラは音楽
性を追求する「芸術表現」。どちらも
見応えにはまったく遜色なく、芸術
祭総合ディレクターの北川フラムさ
んも「足は地に、目は世界へ」という芸
術祭のコンセプトそのもの。こうい
うプロジェクトが見たかった」と絶賛。
海外にも発信していける手応えをつ
かんだようです。

仕事歌は今回上演した以外にも
たくさんあり、今後は四国村の各施
設を舞台に建物にゆかりの深い仕
事歌を上演するなどさらに幅広く
取り上げていく構想も。オペラは再
演を望む声が大きく、広く伝えてい
けるよう学校教育の現場でも活用
できるコンパクトな形に整えてい
きたいとのこと。

現在、若井教授はライフワークであ
る瀬戸内源平絵巻オペラ三部作の完
成を目指しているところ。「台本はほ
ぼ完成しました。これまで三部作のオ
ペラは日本にほとんど存在せず、こ
までやれるかの挑戦。今回「二人奥方」
でオペラに興味を持った人たちに、親
しんでもらえたらうれしいです」



伝え残したい想いを 世界へ、未来へ！

この挑戦は、最初の一步。
地域が誇る瀬戸内の伝統的生活文化を、
先人たちの想いと共に。



キャストも裏方も 一丸となった大挑戦

「今回の成功は、多くの人の協力とご理解の賜物です」と若井教授が語る通り、地域の様々な人たちが多くの大学関係者がプロジェクトをサポートしました。

第一部「瀬戸内仕事歌」で「石切り唄」「地つき唄」「東讃砂糖しめ唄」「尾綱引き唄」「伊吹島舟唄」「讃岐麦打ち唄」「浜曳き唄」の7曲を披露したのは、「石切り唄保存会」「讃岐民謡保存会」「桑山会宇多津社中」の皆さん。昔の労働風景を演者が再現し、ラストの曲では、現代舞踊研究会「土曜族」が、「浜曳き」を表現しました。教育学部の古草敦史教授がフレスコ画風に描いた作業画を、昼公演は幕の早替えて、夜公演は映像で背景を表現しました。農村歌舞伎舞台が象徴する「昔ながらの手法」と、最新機器を使った「現代の手法」が融合した演出です。

7曲中5曲を担当した「讃岐民謡保存会」の山下利雄さんと智恵子さんは、保存会に参加して約40年。地域のお祭りや小学生向けの指導、四国民謡協会のコンクール、国民文化祭などで歌を披露してきました。香川の民謡のほか全国の名曲を取り入れながら、日々技術を磨いています。

農村歌舞伎舞台は初めてでした

「仕事歌の世界に飛び込むきっかけとなった師匠から『ええ声を出すな、うまく歌おうとするな』と叩き込まれました」という利雄さんの素朴な声は観客を一気に惹き込みました。「キラキラした目で真剣に取り組んでくれる大学生たちの姿に、私たちもフレッシュな気持ちを取り戻したように思います」。智恵子さんも

「若い世代に興味を持ってもらい、今までの形にとらわれず地域にゆかりの深い歌を歌い継いでいけるよう、これからも学生さんたちと一緒に何かできればうれしい」と、今後への期待をにじませました。

第二部のオペラ「二人奥方」では、屋島中学校合唱部の生徒たちが巫子の装束に身を包んだ子ギツネ役で登場。普段は「みんなで合わせる」ことを重視する彼らにとって、「個性を出して1人で歌う」演技をしながら歌うのは大変な挑戦でした。練習期間は約2カ月、本番とテスト期間が重なり多忙を極める中、若井教授も演技や歌い方の指導に赴きました。

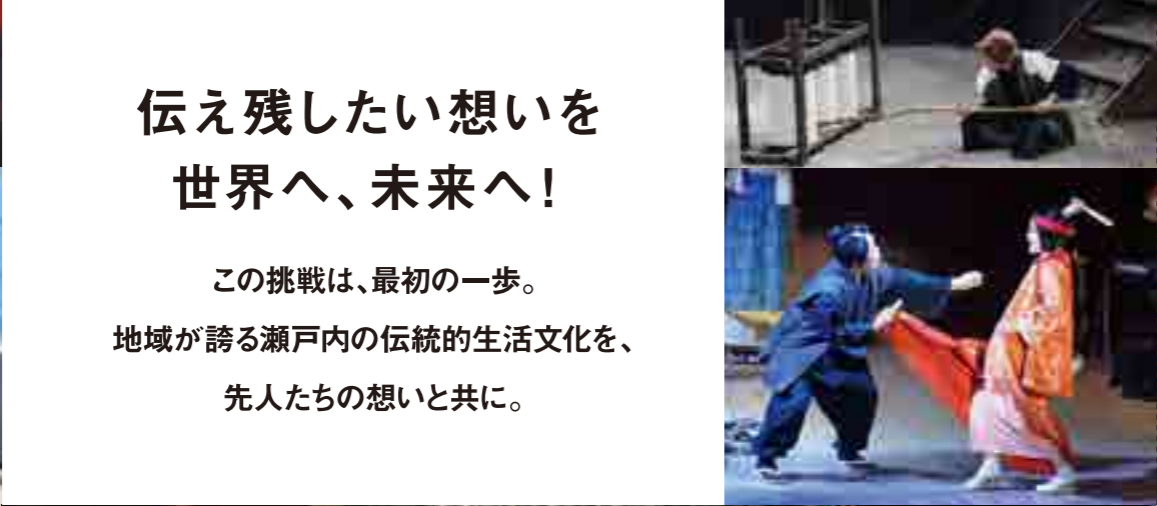
「歌詞の意味を掘り下げると違っていて、今回は『役柄』を深めるワークシヨップで、一人一人が自分の演じるギツネの性格や動きを具体的にイメージさせました。当初は目立つことを恥ずかしがっていた子も少しずつ積極的になって、表情が変わってきました」といいます。「1人で響きをふくらませつつ観客に伝える難

しさを痛感しましたが、だんだん自分を出すのが楽しくなって、緊張しても声量が出るようになりました」と、3年生の中川遥稀さん。

「実際の衣装を着て一層役に入り込んだ姿は、お互いに新鮮でした」と語るのは、2年生の佐々木洗輔さん。「しっぽを付けた時は一番テンションが上がりました。本番は楽しくて、あつという間。失敗しても次を目指せるコンクールと違って、舞台の上で物語をつなげていく責任を学び、成長できたと思います」

香川大学の学生たちも、様々な形でプロジェクトに関わっています。中学生が演じる子ギツネのメイクを担当したのは、創造工学部4年生の十川陽香さん。小学5年生の頃に農村歌舞伎に魅了され、現在も農村歌舞伎（祇園座保存会）の一員として活躍中です。瀬戸内国際芸術祭2019の香川大学作品「トラと呼ばれたサル」でキャストを務めた経験も生かしつつ、今回は裏方を担当。昼公演を観て気づいたことを踏まえ「夜公演ではメイクの雰囲気を覚えてみたい」と提案するなど、柔軟な対応力が光りました。

十川さんにとって農村歌舞伎は幼い頃から親しんできた世界ですが、オペラは新鮮なもの。「どんなコラボレーションになるのか想像もつかなかったけれど、見得の張り方やメイク・衣装などをうまく取り入れていて、驚くほど一体感がありました。前



回の芸術祭に続いて、香川に農村歌舞伎文化が存在することを世界に発信する貴重な機会になったと感じています。農村歌舞伎に新しい要素を取り入れて盛り上げていく上で、オペラに触れたことは良い刺激。世界観を広げてもらいました」

教育学部4年生の金谷侑紀さんは、パンフレットに掲載する情報の取りまとめをサポート。今回のパンフレットには、仕事歌の保存に取り組む各団体をはじめ国会図書館、国立公文書館、地域の民俗資料館やミュージアムなどの協力も得て集めた膨大な情報を、今後も長く活用できる詳細な資料としてまとめる目的もありました。調べていくうちにどんどんページが分厚くなっていき、資料によって微妙に異なる歌詞のバージョンや表記に悩まされたことも。「でも、肉體労働時の疲れを吹き飛ばすほがらかな歌が多くて、楽しかったですね。リハーサルの際は観ている私もつい一緒に『どっこいしょ』と声が出たりしましたし、本番の臨場感は本当にすごかった」

金谷さんは文化の保存に興味を寄せており、「経済の発展に直結しない文化の保存は意味がないという人もいますが、一度失われた文化は二度と戻りません」と力を込めます。生活に根差した民俗を残していく点でも、今回のプロジェクトは大いに意義のある挑戦だったといえるでしょう。

瀬戸内仕事歌 Work songs of Setouchi & 四国最古の民謡オペラ「二人奥方」

香川大学作品
「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト」

本番、ドキュメント動画、
パンフレット等を公開しています。

<https://www.kagawa-u.ac.jp/cooperation-community/local/27076/28036/>



教育学部 副学部長
若井 健司
わかい けんじ
香川県高松市出身。専門は声楽・音楽教育・地域芸術。テノール歌手。四国二期会理事長。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。2020年から現職。





亀川 哲さん
経済学部 2年
経済学科
岡山県立
玉島高等学校 出身

KAGAWA UNIV. ANNUAL EVENTS

年間行事



どれもステキ～!!

相澤 咲希さん
教育学部 1年
学校教育教員養成課程
鳥取県立
倉吉東高等学校 出身

フォトコンテスト 夏期募集開始

香川大学の魅力を広く発信することを目的として、Instagramを利用したフォトコンテスト(年2回)を開催します。

JULY 7
JUNE 6
MAY 5



これから僕たちと一緒に頑張ろう!!

START!



米田 依吹さん
創造工学部 2年
創造工学科
造形・メディアデザインコース
徳島県立脇町高等学校 出身



香川大学のキャンパスライフを私たちが紹介します!

第1学期

入学式

APRIL 4



小谷 茂々笑さん
医学部 4年
看護学科
香川県立
高松高等学校 出身

◀ NEXT STAGE



次はさらにイベントが盛りだくさん!

第1学期定期試験

ものっそ香大★チャレンジプログラム、 香大生の夢チャレンジプロジェクト募集

学生の自主性、積極性、創造性等を高め、学生生活の活性・充実に資するとともに、地域社会で求められる人材を育成するために、学生のチャレンジ精神を刺激する機会を増やすことを目的に、各年度において設定されたテーマに対して提案された魅力的・独創的なプロジェクト事業を支援しています。

「ものっそ香大★チャレンジプログラム」は各年度において設定されたテーマに対して提案された魅力的・独創的なプログラムにあった学生提案プロジェクト。

「香大生の夢チャレンジプロジェクト」は支援プロジェクト事業の範囲は、特に分野を設けず、プロジェクトの目的にあった地域活動、自主的活動、交流イベント、ボランティア活動等の学生提案プロジェクト。

西田 海晴さん
農学部 4年
応用生物科学科
山梨県立甲府昭和高等学校 出身

みんなでチャレンジしてみよう!



黒松 羽生さん
教育学部 1年
学校教育教員養成課程
岡山県立
岡山一宮高等学校 出身



地域との親交を深めて成長しよう!

重友 航さん
法学部 1年
法学科
徳島県立
城南高等学校 出身

新入生
ガイダンス

新入生
定期健康診断

新入生
修学相談会

ネクストプログラム

所属する学部での学習に加え、学部の枠を超えて、主体的に学習する自由参加型の特別教育プログラムを行っています。現代社会が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、今後重要性を増す分野、従来の学問体系にとられない分野などをネクストプログラムで学ぶことができます。

2022年度選択可能プログラム

- ◎グローバル人材育成プログラム
- ◎防災士養成プログラム
- ◎ヒューマニティーズ(人文学)プログラム
- ◎DRIイノベーター養成プログラム

新入生歓迎祭(新歓祭)

毎年4月、新入生に香川大学に早く慣れ親しんでもらうため、香川大学サークル連合H.O.P.主催で新入生歓迎会が開催されます。屋外ではサークルやプロジェクト団体の勧誘ブースが数多く並び、先輩学生が熱心に勧誘活動を行います。講堂ではダンスやアカペラなどのサークルが日ごろの練習の成果を披露します。



おぉ～! みんな楽しそう!!



奥田 大智さん
農学部 4年
応用生物科学科
滋賀県立
八日市高等学校 出身



最高の思い出を
みんなで作ろう!!



香川大学祭
10月29日(土)、30日(日)

医学部祭
10月8日(土)、9日(日)

香川大学祭では、学内サークルや学生プロジェクト等によるパフォーマンスや展示、体験コーナー、H.O.P.(大学祭実行委員会)主催の香川大学キャンパスコレクション等を開催し、医学部祭では、医学部サークルによる模擬店、ステージ企画、医学展など毎年、多種多様な企画が開催されています。医学部祭は今年度、新型コロナウイルス感染症対策のため、学内限定の開催予定です。



これから2学期!
キミは何に
チカラを入れる?



第2学期

OCTOBER
10

大学記念日



**フォトコンテスト
冬期募集開始**

香川大学の魅力を広く発信することを目的として、Instagramを利用したフォトコンテスト(年2回)を開催します。



映えスポットを
探索しよう!



皆さん是非
遊びに来てください。

OPEN CAMPUS
8.4 THU ▶ 8.5 FRI

オープンキャンパス

8月4日(木)
医学部看護学科

8月5日(金)
教育学部/法学部/経済学部
医学部(医学科・臨床心理学科)
創造工学部/農学部



ステージ!!

AUGUST
8

夏季休業

夏季休業終了

夏季休業開始

アセスメントテスト

アセスメントテストとは…

課題を設定して探求するという基本的な思考の枠組みを身に付けるため、特に本学が力を入れて取り組んでいるDRI教育の学修成果の可視化を行う目的の検定試験です。

DRI教育とは…

「DRI教育」とは、新たな価値創造のための教育です。DRIとは、次の3つの言葉の頭文字です。本学は、地域社会の課題解決に資する教育・研究等の実績をもとに、地域活性化の中核的拠点としての機能強化に取り組むことをビジョンとして掲げています。地域活力を維持・向上させるためには、イノベーションが必要とされます。そうした新たな価値を創造できる人材を育てるため、DRI教育を実施しています。



**香川大学学業優秀者
学長表彰式を実施**

学業成績及び人物共に特に優れていると認められた学業優秀者を表彰する学長表彰式が行われます。



ここから更に
キャンパスライフが
加速!!

レッツゴー!



NOVEMBER
11

フォトコンテスト
夏期表彰式

ほうきの会
(香川大学環境美化ボランティア)

毎週火曜日7:30~幸町北キャンパス正門付近で地域の方々と一緒に活動!いつでも誰でも参加できるよ!



サークル一覧



地域の
役に立ってるって
最高!!



Congratulations!

キャンパスライフ
お疲れさまでした!



卒業式

MARCH 3

FEBRUARY 2

修了式

学生生活支援
プロジェクト報告会

入学者選抜試験
(後期)

入学者選抜試験
(前期)

第2学期
定期試験

フォトコンテスト
冬期表彰式

春季休業開始

香川大学生協の
ハラル食限定キッチンカー
各キャンパスを
まわってるよ!



Kitchen Car

試験が多くて
大変だけど
乗り越えよう!

Fight!

みんなで
応援してるよ!



学内業界研究セミナー

企業を学内へ招待し、ブース形式で企業説明会を実施する。参加する学生は自身の興味のある企業ブースを訪れて、企業概要や業界の魅力について学ぶことができます。



いいな〜
すごく楽しそう!

学長主催
留学生のための
新年会

JANUARY 1

大学入学
共通テスト

冬季休業終了

イングリッシュ
プレゼンコンテスト



防災訓練



もしもの時に
かならず参加しよう!!



キャンパスライフも
いよいよ後半!
ここから更に
頑張るぞ!



ビブリオバトル

ビブリオバトルとは、ビブリオバトル(発表者)たちがおすすめ本を持ち合い、1人5分の持ち時間でその本について紹介します。このイベントを通して、学生に向けて本や読書の関心を高め、また、発表参加者のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目指しています。

DECEMBER 12

冬季休業

冬期休業開始

インターナショナルウィーク

本学の国際交流活性化の機会とするため、12月の約一週間、多文化テーマ講演会、英語プレゼンテーションコンテスト、学生主体の異文化イベント等を開催している。



外国の文化に
触れる機会も
いっぱいあるね!!





PLAY THE MISSION!

学生のSDGs活動紹介

～世界とともに未来を創る～



さぬき再犯防止プロジェクト

さぬき再犯防止プロジェクトは、地域の方たちが安全に安心して暮らせる社会を作りだすために再犯を防止することを目的としています。再犯が行われるのは、身寄りや職、住居がない等の理由により、社会から孤立していることが主な原因とされており、その防止には「居場所と出番」をつくることが重要であると言われています。そこで、私たちは、様々な交流会を開催することで「居場所と出番」をつくるお手伝いや、映画の自主上映会開催など、差別なく彼らを受け入れる社会づくりに資する活動を行っています。



高原城址再生プロジェクト

香川大学直島地域活性化プロジェクトが活動する直島町に高原城址と呼ばれる広場があります。現在、その広場を管理する地元老人会の高齢化に伴い、高原城址はうっそうとしています。そこで、地域住民とともに再び人々が集まる明るい場所にするため、整備活動を開始しました。季節の草花や、瀬戸内海の景色など、高原城址の魅力を活かし、島民や観光客に立ち寄ってもらえる場所にしたいと考えています。また、高原城址を舞台として様々なイベントを開催するなど、より多くの方に高原城址の魅力を知ってもらうための活動も行っています。



脱炭素型ライフスタイルワークショップ 香大生のペットボトルキャップが世界を救う!?

香川大学学生ESDプロジェクトSteePでは、地球温暖化、環境問題、食品ロス問題等に取り組んでいます。所属学生の学部は様々で、環境の幅広い分野において日々学び広める活動をしています。高松市の脱炭素型ライフスタイル推進事業のモデル事業の一環として委託を受けて計画・実施する「脱炭素型ライフスタイルワークショップ」や香川大学生へのSDGsにまつわる世界の諸問題に対する意識の啓発につながることを目標とした「香大生のペットボトルキャップが世界を救う!？」などの活動を行っています。



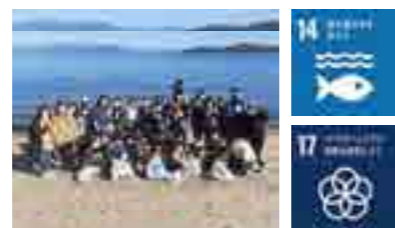
香川大学生の「さぬき市観光地域づくり懇談会」への参画

さぬき市「平賀源内旧邸」から「志度寺」まで続く東西の門前通り「源内通り」のかつての賑わいを取り戻すべく、地域のステークホルダーが協議し活動する「さぬき市観光地域づくり懇談会」の場に全学共通科目「瀬戸内地域活性化プロジェクト」の一環でさぬき市班の学生が参画しています。大学生ならではの視点をもって参加することで、青少年から高齢者まで幅広い世代を包摂した取り組みを創出する一助となっています。



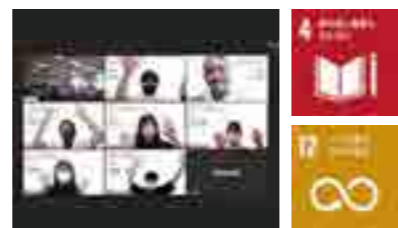
フードドライブ活動LOOP(るーぶ) ～つながる輪～笑顔の輪～

香川大学学生ESDプロジェクトSteePのメンバーが、高松市のライオン通り商店街Smile'sにおいて、定期的に家庭や商店等で使い切れない未使用食品を持ち寄り、まとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈するフードドライブ活動を行っています。集まった食品は高松市社会福祉協議会に寄付しています。



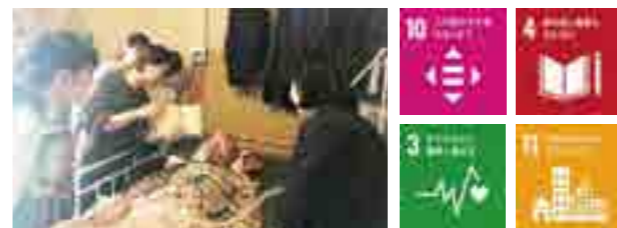
海ごみ拾い親子ツアー ～僕たちは香川の海ごみ海賊団!3～

この活動は、香川大学学生ESDプロジェクトSteePのメンバーが企画・開催する、海ごみに関するイベントです。フィールドワークやゴミ拾いなどを通して県内の子どもの保護者に、海ごみ問題を楽しみながら知ってもらい、海ごみ拾いのイメージを変換するとともに、海の大切さ、すばらしさを知ってもらう事を目的としています。



香川県内の小学生と 香川大学生との交流

香川大学学生ESDプロジェクトSteePでは、毎年、県内の小学校へ赴き、気候変動を主とした環境問題やSDGsにまつわる授業を開いています。2021年中には2校の小学校と交流させていただき、オンラインでのクールチョイスに関する講義開催や、直接小学校の訪問を通してSDGsの活動をサポートしています。



在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)療養者への 大学生によるオンラインミーティング

2018年に香川大学医学部サークルとして創設されたボランティアサークルは、2019年から在宅ALS(筋萎縮性側索硬化症)療養者への対面による外出・生活支援ボランティアを開始しました。2020年からのCOVID-19によるサークル活動禁止期間を除き、対面活動をオンラインに切り替え、対人交流の少ない療養者へのオンラインミーティングを実施しています。より多くの患者さんと学生がプロジェクトに参加することで、互いに社会との繋がりをもち、地域で療養する患者さんのメンタルケアと学生の地域貢献意識の涵養に繋がっていきます。



【うどん県からカンボジアへ】 救えるはずの小さな命を救いたい!

香川国際協力NGO U-dawnでは、カンボジア現地NPO法人や現地医学生と連携・交流を通して現地情報入手し、その情報を基に不足している医療機器をカンボジアの病院へ寄付するプロジェクトを立ち上げています。カンボジアでは、仮死状態の赤ちゃんを蘇生できる医療スタッフが少なく、新生児死亡率が日本の約14倍と高い状況です。そこで、医療スタッフのスキルアップに必要な機器を贈るためのクラウドファンディングを行い、支援を集めました。現在は、新生児蘇生研修会を開くための現地医師とのミーティングを重ねています。



有機野菜を育てるちょんまいガーデンプロジェクト ～幸町キャンパスにつながるの場をつくる～

「ちょんまいガーデンプロジェクト」は、2020年から有機野菜の課題解決に向けて、丸亀市のよしむら農園さんと連携し、有機野菜を広めることを目的に始まったプロジェクトです。現在は、幸町北キャンパスのアメニティ広場内にある小さな花壇で有機野菜を育て、InstagramやHPで魅力を発信し、学生や若い人たちに有機野菜を知ってもらうきっかけを作っています。2021年度はトマトや三豊ナスなどの夏野菜、大根や小松菜、キャベツなどの秋冬野菜を栽培しました。活動の詳細はInstagram(@chonmaigarden)から。



こいこい!【まちづくり】 農村カフェ・空き家改築・香川県就活企画

学生団体「koi-koi」は、2021年4月に発足した団体です。地域課題の持続可能な解決に向けて、学生と地域の方が協力し、香川で活躍できる若い担い手を増やすことを目的に始まりました。これまで、自ら商品開発しマルシェに出店したり、香川の農業発信活動、空き家イノベーション、農村カフェの運営など様々な活動を大学生が地域の方と協力して行っています。部活動やボランティア活動とは異なる形で、地域に根差した新しい活動やおもしろい活動を生み出しています。詳細は Instagram(@koi_koi.kagawa) から。



高松市×香川大学×高松中央商店街で 楽楽ボードを作成

本事業は「高松市手話言語及び障害のある人のコミュニケーション手段に関する条例」に基づき、香川大学教育学部と高松市、高松中央商店街が連携して実施しています。発達障がいや聴覚障がいなどの障がいのある人や外国人等、話し言葉(日本語)によって自分の意思や気持ちを表することが難しい人とのコミュニケーションを円滑にし、商店街での買い物を楽しめるよう「たかまつ楽楽ボード」を作成しました。これを契機として障がい者に優しいまちづくりが、より一層促進されることを目指しています。



カンボジアのゴミ問題を考える

香川国際協力NGO U-dawnでは、現在のカンボジアの問題についてアンコール大学の学生に調査しました。カンボジアでは、道端に捨てられたゴミで下水が詰まり、雨の日には道路が冠水してしまうことがあるなど、ゴミ問題が深刻だと考えている学生が多かったです。そこで私たちは、現地の学生と協力してゴミ問題解決に向けた取り組みを行なうこととし、カンボジアと日本のゴミ事情やゴミ問題について情報交換する中で、問題点や具体的な活動(例えば、ゴミに関する知識の普及やゴミ箱の設置など)について議論を重ねる予定です。

世界初の希少糖をつくりたい

興味関心のままに 知見を広げた学部時代

出身は愛知県です。大学進学に当たって、当時注目されていた遺伝子工学を学びたいと思い、いろいろ調べた候補の一つが香川大学農学部でした。あの頃の農学部は生物生産学科・生物資源食糧化学科・生命機能科学科の3学科制で、今思えば遺伝子工学を学ぶなら生命機能科学科の方が良かったのかもしれないですが、私は生物資源食糧化学科を選びました。

大学は高校と違って自分で授業を選べるので、興味のままに分野を問わず受講して、哲学の講義などにも出席していました。1年次はほぼ空きコマがなかったほど。何が新しい興味のきっかけになるかは、学んでみないとわかりませんが、学生のうちはいろんなジャンルを見聞きして、失敗を恐れずに動いてみるのが大事です。当時は、所属する学会の全然関係ない分野の発表も見に行ったりしていました。

生物資源食糧化学科には何森健先生がいらっしゃって、当時学科内で遺伝子工学を研究に活用している唯一の研究室でもありました。ちょうど学内で「D-ブシコース」の名前が聞こえ始めた頃です。珍しい糖があるんだなあ、と私も初めて知りましたが、何森研究室に所属して、学部生から修士課程時代の主な研究テーマは「糖質加水分解酵

素に関する研究」でした。多糖などを分解する酵素の研究がメインで、まさかそこから15年間、希少糖研究に打ち込むことになるとは思っていませんでした。

「つくる」楽しさに 魅了された博士課程

転機は博士課程に在籍していた時のことです。いろんな発見があつて楽しかった糖質加水分解酵素の研究が、大きな壁にぶつかりました。悩む私に、何森先生が希少糖研究への道を開いてくださったんです。

それまでも同期や後輩、留学生など周囲が取り組む希少糖研究について知ってはいたものの、自分で希少糖をつくるのは初めてのこと。自然界にはほとんど存在しない糖、あるいはまだ世の中に存在しない糖、新しい糖を「自分でつくれる」面白さに、すっかり魅了されました。

博士課程の博士論文も、微生物や酵素を使って今までのない希少糖をつくるのがテーマでした。自然界には、たった1gの土の中にも数千万もの微生物がいて、その中には「希少糖をつくれる」「糖を食べるために別の形に変える」といったユニークな反応をするものがあります。それを探し出して新しい希少糖をつくり、原料の糖に使用する酵素を変えたらどうなるかを試したり…。何森先生の研究で大量に生産できるようになった

D-ブシコースに動脈硬化や血糖値上昇を抑える機能があることがわかってきて、「希少糖には隠れた新しい機能がもつとあるかもしれない」という期待のもと、希少糖研究に積極的な機運が高まっていたことも、背中を押してくれました。

研究を支える学内外連携

2009年、博士課程を終えてすぐ本学の農学部に着任し、今に至ります。現在のテーマは博士課程時代の研究を発展させて「新しい希少糖をつくりだす」こと。イズモリングに表される糖の炭素数は4〜6ですが、私の手で新しい希少糖を世の中に送り出したいという思いを今も強く持っています。既存の方法では、生産される希少糖の構造は原料となる糖の構造に似てしまうことを踏まえ、有機合成で原料となる糖をつくり、「自然にない糖から希少糖を生み出す」共同研究なども進めています。

研究中にびっくりしたこともあります。糖というサラサラした砂糖のイメージが強いと思いますが、水分を飛ばしても結晶化しないものもあります。それでも糖としては完成しているので、そのうち何かに使おうと60〜70%の糖液を冷蔵庫に入れていました。ところが、2カ月ほど経つてふと見たら、容器の中に結晶ができていたんです！ 静置しているだけで結晶化したことに

自分でも驚きつつ世界初の結晶の分子構造を共同研究している先生と共に明らかにしました。

機能性の研究や希少糖や生産する酵素の構造解析などは、他分野との連携が欠かせません。工学部・医学部をはじめとする他学部や、国際希少糖研究教育機構を通じた横の広がりを活かしながら、様々な先生と共同で研究しています。もともと香川大には他学部と連携しやすい風土があり、特に希少糖研究は私が教員になった頃にはネットワークが確立していたおかげで、スムーズに研究を進められます。私も希少糖を「つくる」立場として、いろんな先生方の研究をサポートしていくつもりです。

新しい希少糖ができた時は、やっぱりうれしいですね。イズモリングに表される六炭糖34種類のうち30種は希少糖で、そのうち機能がわかっているのはわずか3〜4種。わからないことだらけの希少糖を、少しずつ明らかにして、ゆくゆくは人の生活を豊かにしたり、健康維持に貢献する糖を生み出したいと思っています。

希少糖は香川大が世界の最先端を走っている分野ですから、少し興味を持って、いろんな扉が開けるでしょう。私自身、入学当時は研究職に就くとは思っていませんでしたが、何森研究室で味わった実験の面白さと苦しさ、新しいものを生み出す手応え、そしていろんな人の研究に触れたことが、今につながっていると実感しています。世界初の希少糖をつくりたいければ、ぜひ当研究室へ！ 本学には、本当にオンリーワンの環境があると思いますよ。

YOSHIHARA AKIHIDE

世界の最先端を走り続ける、
オンリーワンの環境がここにある。



PROFILE

愛知県出身。2004年香川大学農学部卒業、2006年同大学大学院農学研究科修士課程修了、2009年愛媛大学連合農学研究科博士課程修了。何森健名誉教授の下で微生物や酵素を用いた希少糖の生産について学ぶ。専門は酵素利用学、微生物利用学で、2009年4月より香川大学の教員となり、微生物や酵素を用いた新規希少糖の生産に取り組む。

2022.1.25~26

ミス・インターナショナル日本代表が香川県産品(希少糖)をSNSなどで

世界に向け発信するための動画収録が香川大学で開催



動画は下記のQRコードから



2022ミス・インターナショナル日本代表松尾綺子氏出演による希少糖紹介のPR動画収録が行われました。松尾氏とオンラインを通じて、希少糖生成までの過程や歴史、活用方法等を何森名誉教授と秋光教授が説明し、松尾氏が希少糖を使用した食品の試食を行いました。

また、松尾氏から算学長へ、「希少糖のグローバル展開」、「大学の希少糖への期待」について質疑応答が行われ、今回撮影した希少糖紹介のPR動画は松尾氏のSNSやその他メディア媒体を通じて、世界へ発信されています。

2022.4.19

香川大生のアイデアで希少糖のお菓子

「スイーツコンツェルト」が誕生



希少糖
最前線

希少糖の一種であるD-アルロースの純品「アストレア」が商品化され、より多くの人に希少糖を知ってもらおうと、「香川大学」の学生と「菓子工房ルーヴ」が協働でお菓子を開発しました。香川大学生「KaNoHaProject」*のメンバーは、この「アストレア」の商品開発と希少糖の市場浸透に貢献することを目的に「菓子工房ルーヴ」へ協働実施を提案。両者協働による商品開発は初の試みであり、お菓子作りのプロであるパティシエ達と共に、その特徴を生かした独

創的なアイデアを出し合い、香川の県産品素材の魅力と希少糖のすっきりとした甘みのハーモニーが楽しめるお菓子「スイーツコンツェルト」が誕生しました。パッケージにもこだわり、学問をイメージさせるアンティークな洋書型で、「アストレア」を使用したプチフィナンシェ、苺のコンフィチュール、サブレ、「アストレア」の粉末の詰め合わせ。香川大学生協と、高松市にあるグランメゾン・ルーヴにて販売中です。

*KaNoHaProjectとは、学生の目線から香川の産業や県産品の魅力を発信する香川大学の学生プロジェクトです。

2022.3.9

文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」のかがわイノベーション・希少糖による糖資源開発プロジェクト」の成果報告シンポジウムを開催しました。



このプロジェクトは、香川大学が保有する希少糖に関する知識とノウハウを活用することで、天然の甘味料、医療用食品等としての希少糖の事業化を推進し、糖市場、医療関連市場等に新たな市場を創成することを目的とし、香川県や企業と連携することで、香川の希少糖ブランドを確立し、地域の一大産業へ成長させることを目指して香川県と共同申請を行い、平成29年9月から実施し、高評価で終了いたしました。今回のシンポジウムでは、希少糖研究の研究シーズを事業化につなげる拠点として、本学の国際希少糖研究教育機構を中心とし、5年間にわたり進めた取り組みの報告を行いました。

2021.8.27

高松帝酸株式会社から水素添加反応を用いた希少糖が納品

香川大学・香川県の技術・事業化支援により、高松帝酸株式会社から水素添加反応を用いた希少糖生産・供給事業を開始し、希少糖D-アルロース(=D-ブシコース)から水素添加反応で生産されたD-タリトールとアリトールが本学農学部キャンパスに納品されました。この事業は、2016年に研究開発チームと来校された高松帝酸・太田社長の「地域で起こったイノベーションを支えよう」の一言から始まったもので、納品当日には多くの報道陣の取材を受けました。



日経 就職ランキング 2022 ▶ 2023

総合ランキング (上位50校抜粋)

順位	分類	大学名	総合得点	行動力	対人力	知力・学力	創造性
1位	国	京都大学	33.70	8.26	8.01	9.17	8.26
2位	国	名古屋大学	33.42	8.35	8.11	8.88	8.08
3位	国	名古屋工業大学	33.03	8.34	8.06	8.62	8.01
4位	国	横浜国立大学	32.79	8.22	7.93	8.70	7.94
5位	国	一橋大学	32.72	8.08	8.16	8.83	7.65
6位	国	東北大学	32.56	8.31	7.82	8.69	7.74
7位	国	大阪大学	32.48	8.21	7.96	8.56	7.75
7位	公	大阪府立大学	32.48	8.27	8.11	8.35	7.75
9位	国	東京外国語大学	32.46	8.13	8.19	8.51	7.63
10位	国	神戸大学	32.41	8.12	8.07	8.48	7.74
11位	国	九州大学	32.37	8.21	7.94	8.45	7.77
12位	国	奈良先端科学技術大学院大学	32.13	8.49	7.64	7.82	8.18
13位	国	千葉大学	32.04	8.00	8.02	8.32	7.70
14位	国	北海道大学	31.97	8.02	7.78	8.47	7.70
14位	公	名古屋市立大学	31.97	8.24	8.08	8.35	7.30
16位	国	東京大学	31.91	7.87	7.61	8.85	7.61
17位	私	慶應義塾大学	31.72	7.93	8.16	8.28	7.35
18位	私	早稲田大学	31.62	8.20	7.93	8.08	7.41
19位	国	熊本大学	31.50	8.04	7.83	7.96	7.67
20位	国	岩手大学	31.31	7.97	7.69	7.82	7.83
21位	公	高知工科大学	31.30	8.17	7.91	7.66	7.56
22位	国	長岡技術科学大学	31.29	7.98	7.62	8.13	7.56
23位	国	京都工芸繊維大学	31.24	7.98	7.95	7.80	7.51
24位	国	東京工業大学	31.20	7.91	7.51	8.51	7.27
24位	国	和歌山大学	31.20	8.18	8.06	7.50	7.46
26位	国	豊橋技術科学大学	31.03	7.91	7.56	7.90	7.66
27位	国	弘前大学	30.73	7.77	7.64	7.80	7.52
28位	私	獨協大学	30.72	8.01	7.87	7.66	7.18
29位	国	岡山大学	30.68	7.83	7.46	7.78	7.61
29位	私	山形大学	30.68	7.71	7.68	7.91	7.38
31位	私	同志社大学	30.65	7.83	7.80	7.73	7.29
32位	公	東京都立大学	30.63	7.83	7.74	7.91	7.15
33位	国	東京海洋大学	30.61	7.73	7.72	7.69	7.47
34位	私	上智大学	30.60	7.67	7.62	7.94	7.37
35位	国	香川大学	30.32	7.79	7.37	7.72	7.44
36位	国	筑波大学	30.22	7.38	7.54	8.18	7.12
37位	私	桜美林大学	30.21	8.01	8.11	6.90	7.19
38位	国	金沢大学	30.20	7.63	7.29	7.96	7.32
39位	私	関西学院大学	30.16	7.89	7.68	7.45	7.14
40位	私	明治大学	30.14	7.89	7.69	7.47	7.09
40位	私	玉川大学	30.14	7.93	7.68	7.23	7.30
42位	国	広島大学	30.08	7.62	7.38	8.05	7.03
43位	私	立命館大学	30.01	7.75	7.61	7.43	7.22
44位	私	國學院大学	29.96	7.67	7.74	7.28	7.27
45位	国	電気通信大学	29.94	7.30	6.99	8.42	7.23
45位	国	徳島大学	29.94	7.37	7.59	7.84	7.14
47位	私	立教大学	29.92	7.67	7.58	7.54	7.13
48位	公	大阪市立大学	29.86	7.63	7.65	7.61	6.97
48位	国	三重大学	29.86	7.38	7.52	7.74	7.22
48位	国	群馬大学	29.86	7.63	7.23	7.71	7.29

企業の人事担当者から見た大学イメージ調査

地域別ランキング~中国・四国~

順位	分類	大学名	得点
1位	公	高知工科大学	31.30
2位	国	岡山大学	30.68
3位	国	香川大学	30.32
4位	国	広島大学	30.08
5位	国	徳島大学	29.94
6位	国	山口大学	28.45

大学の取り組みランキング

順位	分類	大学名	得点
1位	国	弘前大学	8.62
2位	公	大阪府立大学	8.38
3位	国	香川大学	8.30
4位	私	福岡工業大学	8.28
5位	国	横浜国立大学	8.27
6位	私	東北学院大学	8.17
7位	私	玉川大学	8.16
8位	国	九州大学	8.11
9位	国	東北大学	8.05
10位	国	北海道大学	8.01
11位	国	熊本大学	8.00
11位	公	名古屋市立大学	8.00
13位	国	名古屋大学	7.99
14位	国	京都大学	7.96
15位	公	高知工科大学	7.95
16位	国	神戸大学	7.94
17位	国	新潟大学	7.90
18位	国	岩手大学	7.89
19位	私	金沢工業大学	7.83
20位	国	九州工業大学	7.82

行動力

順位	分類	大学名	得点
1位	国	高知工科大学	8.17
2位	国	岡山大学	7.83
3位	国	香川大学	7.79
4位	国	広島大学	7.62
5位	国	徳島大学	7.37
6位	国	山口大学	7.24

対人力

順位	分類	大学名	得点
1位	公	高知工科大学	7.91
2位	国	徳島大学	7.59
3位	国	岡山大学	7.46
4位	国	広島大学	7.38
5位	国	香川大学	7.37
6位	国	山口大学	7.17

知力・学力

順位	分類	大学名	得点
1位	国	広島大学	8.05
2位	国	徳島大学	7.84
3位	国	岡山大学	7.78
4位	国	香川大学	7.72
5位	公	高知工科大学	7.66
6位	国	山口大学	7.18

創造性

順位	分類	大学名	得点
1位	国	岡山大学	7.61
2位	公	高知工科大学	7.56
3位	国	香川大学	7.44
4位	国	徳島大学	7.14
5位	国	広島大学	7.03
6位	国	山口大学	6.86

これらのランキングは日本経済新聞と日経HRが調査主体として行った調査をもとにして日経HRが発行したもので、全上場企業と一部有力未上場企業を対象に各大学の「学生のイメージ」と「大学の取り組みへのイメージ」について調査したもの。(回答社数746社) 総合ランキングでは学生のイメージについて行動力、対人力、知力・学力、独創性の4つの側面から評価、大学の取り組みへのイメージランキングは項目毎に大学の取り組みイメージについて評価したもの。 総合ランキングの全国ランキングでは35位、エリア別では中国・四国エリアにおいて3位と高い順位にランクインした。 また、大学の取り組みへのイメージランキングでは、企業から「地域の産学連携による問題解決意識が高い」「瀬戸内国際芸術祭等のボランティア活動などに積極的に取り組んでいる」とみられている。 出展：価値ある大学2022-2023版就職ランキング日経HR発行・日経BPマーケティング発表



日本マイクロソフト株式会社と連携に関する協定を締結

令和4年5月20日(金)、本学と日本マイクロソフト株式会社との間で連携に関する協定を締結しました。本協定は、国立大学法人香川大学及び日本マイクロソフト株式会社がICTを含む先端技術の活用等を通じ、DX推進による大学改革、地域活性化及びDX推進人材育成を目的として締結したもので、①DX推進人材育成、②DX推進による大学改革、③DX推進による地域活性化について協力していくこととしています。締結式では、香川大学の寛善行学長と日本マイクロソフト株式会社の佐藤亮太執行役員常務の挨拶の後、香川大学の八重理人情報メディアセンター長による協定に関する取組の概要説明が行われました。概要説明の後に、双方の代表によって協定書にサインを行い、この連携協定により、双方の連携関係を深めて、DX推進人材育成などを目指して取組を進めていきます。



ネクストプログラム・グローバル人材育成プログラム 派遣学生の留学に係る社行会・懇談会を実施

令和4年6月1日(水)、「ネクストプログラム・グローバル人材育成プログラム(英語コース・中国語コース)」派遣学生の社行会・懇談会を開催しました。コロナ禍により留学が中断していたため、2年2ヶ月ぶりの社行会開催となりました。今年度は(カリフォルニア州立大学フラトン校3名、国立政治大学4名、中国文化大学1名、真理大学2名)計10名の派遣学生が留学します。寛学長から、自分の中の情熱に気づく良い機会になるので、元気で頑張ってきてもらいたいと学生に向け激励の挨拶がありました。留学する学生からは、「コロナ禍の影響で一時は断念しかかったが、再び機会を与えていただけたことに感謝したい。世界との架け橋になれるような人材になりたい。」と、留学に対する抱負が述べられました。経験のある教員への質問や、英語・中国語による留学生活に対する決意表明等、終始和やかな雰囲気で行われました。

四国国立5大学と国土交通省四国地方整備局との 防災・減災・復興に係る包括連携・協力に関する協定を締結

令和4年6月30日(木)、「四国国立5大学と国土交通省四国地方整備局との防災・減災・復興に係る包括連携・協力に関する協定」の締結式を行いました。当協定は、四国内の国立5大学である徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学と四国地方整備局の包括的かつ持続的な連携と協力により、地震や津波、集中豪雨などの災害に対する防災・減災・復興に係る研究を推進し、地域の安全と安心に貢献するとともに、地域社会の形成、発展に寄与することを目的としたもので、連携・協力事項は以下のとおりです。



1. 防災・減災・復興に係る人材育成及び啓発
2. 防災・減災・復興の研究
3. 四国内で発生した大規模災害に係る高度で専門性のある調査
4. 相互が目的達成のため必要と認めて合意した事項

この度の協定締結が災害に強い四国のつづき、社会づくりに貢献し、持続可能な四国地方の発展に繋がるよう努めていきます。



公益財団法人松平公益会と中野武営の デジタルアーカイブ事業に関する覚書を締結

令和4年5月12日(木)、香川大学と公益財団法人松平公益会との間で、中野武営のデジタルアーカイブ事業に関する覚書を締結しました。「香川県独立の父」と呼ばれる中野武営については、その知名度や功績の認知が高まりを見せており、同時に、中野武営や氏に関連する資料や情報が整理され、誰でもいつでも閲覧できる拠点整備の必要性が高まっています。本覚書締結を契機として、両者が連携・協力し、中野武営に関する資料をはじめ、近世後期から近代、現代に至る郷土香川県に係る文献、地図、写真などの一次資料を、香川大学の持つ時空間情報を中心とした新たなタグ付け技術を用いてデジタル化、アーカイブ化していく予定です。今後、この事業を推進することで、郷土の資料の体系的な保存の実現に向け、前進することが期待されます。

金融庁中島長官と公益社団法人日本証券アナリスト協会 神津専務理事が香川大学金融人材養成セミナーで講演

令和4年5月25日(水)、金融庁中島長官、公益社団法人日本証券アナリスト協会神津専務理事を招いて、香川大学金融人材養成セミナーが開催されました。香川大学は、近年金融人材の養成に注力しており、中島氏及び神津氏を招いてのセミナーが実現しました。当日は、学部・研究科を超えた教員ら210名が集まり、中島氏の基調講演「金融の楽しさ、大切さを学ぼう」に熱心に耳を傾けていました。また、基調講演後には、中島氏と神津氏との対談「プロ金融人材の育成について」も実現しました。基調講演と対談後、学生との質疑応答もあり充実したセミナーとなりました。



あいおいニッセイ同和損保株式会社 新納(にいろ)社長 大学訪問

令和4年6月17日(金)、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 新納啓介(にいろ けいすけ)代表取締役社長他3名が、本学を表敬訪問しました。本学、MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、平成31年3月に相互の連携・協力を強化し、地域の発展に寄与するために、地域活性化に資する研究交流、人材交流などのうち相互の協力が可能な分野において、具体的な協力を有機的に推進していくことを目的として、連携・協力に関する協定を締結しており、現在、協定に基づき、MaaS(Mobility as a Service)に関する共同研究を実施しています。新納社長は、本年4月の社長就任後初めての香川訪問にあたり寛学長を表敬訪問、その後、学内研究の紹介として、はじめに創造工学部鈴木桂輔教授より共同研究に関する発表があったのち、同学部石丸伊知郎教授、岡崎慎一郎准教授より赤外分光イメージングに関する発表がありました。その後の意見交換・質疑応答では、多様な質問が飛び交い、有意義な時間となりました。最後に記念撮影、イノベーションデザイン研究所新棟の施設見学を行いました。



公益財団法人 高松市スポーツ協会と連携協定を締結

令和4年3月16日(水)、香川大学と公益財団法人高松市スポーツ協会は連携協定を締結しました。本協定は、「ダイバーシティによる三世代のスポーツ交流・推進」をテーマに、香川大学が持つ知見と高松市スポーツ協会が持つ資源の相互活用を行うことにより、高松市におけるスポーツの普及・振興、市民の健康増進と体力向上を図り、活力ある地域社会の形成に寄与することを目的としています。スポーツ文化の活性化・発展、スポーツ活動による人材育成・交流の推進、スポーツによる生涯学習・地域貢献、の3つの事項を中心に、地域におけるスポーツ振興、交流、推進を図ることとしています。本協定の締結を契機に、地域のスポーツの交流の輪を広げていくとともに、地域の皆様のスポーツへの関心や健康増進に繋がる幅広い取組を推進していきます。



「大学・地域共創プラットフォーム香川」の設立総会を開催

令和4年3月28日(月)、「大学・地域共創プラットフォーム香川」の設立総会を開催しました。「大学・地域共創プラットフォーム香川」は、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校を基盤に、地域の各主体が知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から、産業界(各経済団体)、行政(県及び8市9町)等を加えた産官学のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として設立したものです。具体的には、「進学・教育部会」「就職・産業振興部会」「地域活性化部会」の3つの部会において、①地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着に関する事業、②地域社会・地域経済活性化のための地域課題への対応・解決に関する事業、③地域の産業振興に関する事業、④県内大学等の教育の向上及び研究の促進に関する事業、⑤県内大学等の情報の提供・広報に関する事業などを進めてまいります。香川大学長が会長となるとともに、事務局を香川大学に設置しました。今後、「大学・地域共創プラットフォーム香川」において、高等教育の一層の向上、研究の推進とともに、地域社会の活性化に資する取組を「産官学」が一丸となって推進していきます。

香川大学寛善行学長が 香川県知事表彰を受賞

令和4年5月11日(水)、香川県庁において、各界で郷土発展に寄与した功労者を顕彰する「2022年憲法記念日知事表彰」の表彰式が行われ、寛学長が、多年にわたる香川大学医師会会長等として地域医療の充実発展に寄与した等の功績が認められ、医療功労の分野で受賞されました。寛学長は、2001年4月に就任した香川医科大学医学部(現 香川大学医学部)泌尿器科学教授等を経て、2017年10月香川大学長に就任後、現在も、四国唯一のI型糖尿病患者に対する脳下垂腺・腎臓同時移植実施施設である附属病院で外来診療に従事しており、長きにわたって、患者一人一人に寄り添った丁寧な医療を提供しています。特に、2001年に立ち上げた香川県臓器移植ワーキンググループ会議の座長を務め、香川県内のドナー登録啓発活動や臓器移植医療推進に尽力するとともに、2018年4月からは国立大学として全国で初めて医学部に臨床心理学科を設け、心理援助者の養成にも取り組んでいます。



高松地方気象台と連携協定を締結

令和4年3月23日(水)、香川大学と高松地方気象台は連携協定を締結しました。本協定は、これまで互いに培ってきた実績をもとに、包括的に連携・協力することにより、地域防災への貢献と地域社会の発展に寄与することを目的としており、①地域防災への貢献、②人材の育成と相互の研究・調査、③知識の普及啓発とデータの利活用の裾野開拓、の大きく3つの事項を中心として、地域防災の向上に向けて取り組んでいくこととしています。本協定締結により、それぞれが得意とする部分を活かして、地域防災への一層の貢献を目指していきます。



協和化学工業株式会社と包括的連携に関する協定を締結

令和4年4月18日(月)、香川大学と協和化学工業株式会社との間で包括的連携に関する協定を締結しました。本協定は、持続的かつ発展的に研究開発、新規事業の創出、人材交流の分野で相互に協力し、イノベーションの創出、研究開発の推進と産業の発展に寄与することを目的として、「希少糖を用いた新規研究開発」を中心とした包括的連携に関する協定を締結したものです。研究テーマの選定と推進、共同研究に参画する研究者の交流、研究活動の活性化と人材育成、その他の連携活動について連携、協力していくこととしています。締結式では、香川大学の寛善行学長と協和化学工業株式会社の木下幸治代表取締役社長が協定書にサインを行いました。希少糖研究の「知の拠点」を目指す香川大学と、医薬品メーカーとして三木町に製造拠点をもち、希少糖の医療利用に向けた開発研究と地域における産官学連携の拡大を推進するとともに、希少糖以外の様々な研究領域でも両者が共創し、イノベーションの創出を目指して取り組みを進めていきます。

第一章 神原文庫

詳細に残る記録をたどって、
貴重な資料の海へ漕ぎ出そう。

香川大学初代学長
神原 甚造



『古筆手鏡』古筆切貼交折帖〔江戸後期〕編

伝聖武天皇等宸筆や伝弘法大師など著名人の書などが収められている。



『昔ばなし舌切雀』歌川芳盛戯画(元治元[1864]年)

舌切雀の昔話を素材とした浮世絵。
珍しいのは、正直爺さんが開けた葛籠から戦支度をした雀たちが現れ
妖怪・化け物集団と戦っている。



『解体新書』杉田玄白訳(寛政10[1798]年)

ドイツ人医師クルムスの医学書の
オランダ語訳本をさらに日本語に翻訳した。
小石元俊の校正書入れがある。



『伊路波』朝鮮版
(弘治5[明応元][1492]年)

朝鮮人が日本語を学習するための
教科書として刊行された。
神原文庫のみ残存すると考えられている。



『徳川家光朱印状』
(慶安元[1648]年9月17日)

徳川家光朱印状



『学問のすゝめ』福沢諭吉
(明治5[1872]年刊)

福沢諭吉の代表的著作。
「一 天は人の上に人を造らず」から始まる。

**収集記録から浮かぶ
几帳面な人柄**

香川大学初代学長・神原甚造は、大正から昭和にかけて書籍や古文書、絵画資料、古地図・美術品などを広く収集するコレクターでもありました。神原先生の没後に寄贈されたコレクションのうち、書籍類以外の骨とう品などは香川大学博物館に収められ、一方香川大学図書館

が収蔵する史資料約1万2000点・所蔵本約1万6000冊は「神原文庫」と呼ばれています。ここでいう「文庫」は文書・図書類のまとまったコレクションを指し、金沢文庫や足利文庫をはじめ有名な文庫が全国各地に存在しますが、神原文庫が特徴的なのは、収蔵品をいつどこで購入したかの記録が神原先生自身の手で詳細に残されていること。「日付や購入場所を記し

た「古資料収集記録帖」とともに、購入時の領収書や請求書本屋とやりとりした書簡が残っているものもあり、ここまで記録が伴ったコレクションは全国でもきわめて珍しいと思います。おそらく神原先生は非常にマメな人だったんでしょうね」と、教育学部の守田逸人教授。コレクションは辞書・文法書や人文科学・社会科学・自然科学系の書籍、雑誌新聞や錦絵、公文書から私

文書や証文まで、和書・洋書問わず多岐にわたります。中には、天皇や名僧らの墨跡と伝わる180枚を収めた『古筆手鏡』、ごく初期の版とされる『解体新書』、1822年刊行の蘭和辞書『バスタールト辞書』、1872年刊行の福沢諭吉の代表的著作『学問のすゝめ』、徳川家光ら徳川将軍家の朱印状、昔話を素材とした浮世絵『昔ばなし舌切雀』といった貴重なものも少なくありません。15世紀に朝鮮半島で刊行された日本語教科書『伊路波』、井原西鶴『風無常物語』下巻などは、全国でも神原文庫にしかない稀覯書です。

明治・昭和初期は空前の「収集ブーム」

神原先生は1884年に多度津町で生まれ、丸亀中学校、第三高等学校を経て京都帝国大学法学部へ進学。大学卒業後は司法官として活躍し、1925年から1945年まで大審院判事を務めます。1950年に65歳で香川大学の初代学長となつて郷土に戻り、香川の教育・文化発展に尽力しました。

高校時代から文芸誌『明星』に短歌を発表するなど歌人としての顔も持ち、神原文庫には神原先生自身の日記や歌集、講演録も含まれます。小学校に上がる前に祖母に「読本」を教わって「文字」に興味を持ったことが

直すとともに、デジタルアーカイブの充実も視野に入れています。「資料は保存と発信の両輪が大切です。全国・世界各地から気軽にアクセスできる環境を整え、さらにさまざまな研究に貢献していくためにも、本格的なデジタルアーカイブ化に期待したい。」と守田教授と河原さん。

「私を今日に導いた最初の道標でもある」と、晩年に回想しています。コレクションの記録は1922年から1950年まで存在し、特に昭和初期までの熱心な収集ぶりがかがえます。時には、一度に300点近い史資料を購入することもあったようです。「正確にいつから収集を始めたかはわかりませんが、1918年にご夫人を亡くされて、それもコレクションに打ち込むきっかけの一つだったかもしれせん」と守田教授。

明治・昭和初期は、日本の文化財が市場中に大量流出した時期でもありました。富裕層や知識人層を中心にコレクションが大ブームとなり、神原文庫も知識人による収集例の一つです。

文化財的な古書を扱う古書肆も数多く、神原先生の記録帖には「玉林要之輔」「蔵松堂」「一誠堂」をはじめ、関西圏や東京の有名な古書肆の名が連なります。店舗や露店まで買っていくだけでなく、こうした業者が「珍しい品が入った」と声を掛けてきたり、自宅まで直接販売に来たり、晩年には即売会に足を運んだり、コレクションの入手経路はさまざま。記録帖に残る入手元は240を超えます。

蔵書印から伊藤博文が旧蔵していたことがわかる書籍などもあり、収蔵品が神原先生のもとに渡るまでに誰



『東大寺年預五師某書状』
年月日未詳(鎌倉時代前期)

の手を経たかも知れないところ。貸し出しや売却したものについても細かく書き残されており、神原先生の記録帖そのものが、当時のコレクターたちのリアルな収集動向を伝える貴重な資料といえるでしょう。

散逸文書も発見！ 収蔵品は可能性の塊

守田教授は『東大寺文書』の研究を通じて神原文庫に出会いました。東大寺文書は東大寺に伝わる奈良・江戸期の古文書群で、中世以前の文書の大部分は一括して国宝に指定されています。明治時代に散逸したのも多く、流出文書群は1



『東京日々新聞(錦絵)』(明治5[1872]~8[1875]年)

『東京日々新聞』は、現『毎日新聞』(東京本社版)の前身。
新聞に出たニュースを題材とする新聞錦絵で発売と同時に評判となった。



『みだれ髪』初版
鳳(与謝野)晶子(明治34[1901]年)

与謝野晶子の処女歌集。
初版本は、晶子と与謝野鉄幹と結婚する前に
刊行されたため風姓になっている。

『青鞥』創刊号 青鞥社
(明治44[1911]年)

平塚らいてうにより
創刊された女流文芸雑誌。

デジタル化も 視野に入れ再調査中

神原文庫の収蔵品は、研究目的であれば事前予約の上で直接閲覧できるほか、現物を撮影したデータを提供する複写にも対応しています。こうしたサービスを通じて貢献した研究は数多く、大学図書館の一角には神原文庫が関わった研究の献本コーナーも設けています。

一方で、記録帖には載っているのに存在しないものや資料の一部が欠落しているものも見られ、収蔵品のより詳細な調査と目録のアップデートは今後の課題の一つです。「図書館では昨年からは少しずつ整理を始めています」と、神原文庫の利用に携わっている河原佳子さん。整理を進めている情報図書課では、目録をきちんと整え

大発見につながる資料が眠っているかも

香川大学図書館中央館
業務委託スタッフ

河原 佳子
かわはら よしこ

香川県出身。東京都町田市立中央図書館、法政大学多摩図書館、千代田区立千代田図書館等での勤務経験後、2013年より香川大学図書館中央館に勤務。主にサービス業務に従事。2015年より神原文庫の担当となり、個人や博物館・出版社等との利用対応を行っている。



香川大学教育学部教授
守田 逸人
もりた はやと

東京都出身。早稲田大学大学院文学研究科史学(日本史)専攻博士後期課程修了。博士(文学)早稲田大学(2007年)香川大学教育学部准教授を経て、2022年4月より現職。専門は日本中世史、荘園景観の復元研究、中世史科学など。

Next Innovation.

香川大学発 研究シーズ活用レポート

イノベーションデザイン研究所発
時空間デジタルアーカイブ

玉石混交の情報が、 新たな創造の源となる

一見些細な情報も、別の角度では重要なことかもしれない。
どんな情報も等しく蓄積し、適切なインデックス管理で、
誰でも使える「新しいアイデアのベース」をつくらう。



香川大学 創造工学部 准教授
國枝 孝之

KUNIEDA TAKAYUKI

(株)リコー、メタデータの国際標準MPEG-7の委員を経て2018年より現職。マルチメディア情報処理の研究ならびに新規事業創出。新しい産官学連携モデルに関する研究に従事。

「溜める」ではなく「創る」 アーカイブの新たな在り方

2022年4月、イノベーションデザイン研究所(1D研)の拠点施設となる研究棟が完成しました。この施設は研究者、学生、企業、行政、地域住民、あらゆる人が集まって気軽にふれあえるオープンスペースを備えています。異なる資質や背景を有する人々が出会い、交流することで新しいものを生み出す「創発」の場です。

私がここで取り組んでいるのは、松平公益会(中野武宮顕彰会)と連携した香川県独立の父といわれる中野武宮のデジタルアーカイブ構築です。デジタルアーカイブというと、貴重な資料をデジタル化して溜めておく「倉庫」というイメージがあるかもしれませんが、「時空間」をキーワードに、あらゆるサービスを「創る」ベースとなるデジタルアーカイブを提案しています。また、一般的なアーカイブは、収める情報を取捨選択することが多いですが、私たちはどのような情報も玉石混交で受け入れて、時系列と位置情報を一つ一つデジタルデータ化し、次々と蓄積していきます。そのデータにアクセスすることで、時間・空間(地理)を軸に、さまざまな切り口で「ある時期の高松の様子」をストリートビューのように追体験できるようにしたいと考えています。

当アーカイブは、他分野の研究に役立つだけでなく、誰でも使えるものでなくはいけません。検索機能と情報を利用して、観光体験や地域生活を豊かにする新たなアプリやサービスが生まれたら、面白いと思いませんか?まずは香川県独立のために奔走し、洪沢栄一の盟友として経済の発展、財界の紛争調停に尽力した香川の偉人「中野武宮」の功績に光を当て、情報収集をスタート

させたわけです。

入力の効率化と、時空間をどう可視化するかが、かなり工夫が必要ですね。絵で表された古い地理情報をデジタル化してマップに落とし込む、地理的マッピングと時系列的マッピングのインターフェースをつくるといったテーマを設定し、学生たちと一緒に取り組んでいるところです。

課題は一貫性と最新性の管理

私は事務・光学機器メーカーに所属していた頃から情報管理やアーカイブ構築を研究し、データ形式の一つである「MPEG7(マルチメディアコンテンツ内容記述インタフェース)」の国際標準策定にもかかりました。2004年には理系国立大学院大学で授業アーカイブシステム構築を担当しました。講義の内容を資料から構造化し、講義動画をキーワード検索して該当する箇所から頭出しなどができるシステムで、現在も使われています。

このシステムの仕組みを支える、武宮氏のアーカイブにも活用されているのが、コンテンツ検索に対応したMPEG7に準拠したメタデータです。

このメタデータを適切に付与することで様々な検索が可能になります。「画像からパターンを認識し、一致するものを探す」技



写っている人物の配置や名前など、細かくメタデータを付与することで画像データも検索しやすく管理できる

術ではAIもかなり進歩していますが、サンプル数が少ない場合の解析には、まだまだメタデータが強い状況です。現状は一つ一つ手入力しているため時間がかかりますが、文章だけでなく動画や画像もインデックス化できれば、より精密な検索と活用が可能になるでしょう。こうした「データのDX化」は、情報メディアセンターでDX推進も兼務する私のもう一つのテーマでもあります。

武宮氏は東京やアメリカにも足跡を残しておられますから、アーカイブする情報の対象は香川、高松に限らずもっと広げてほしいと思っています。そうすると、「国内外のさまざまな施設が持っているデータのインデックス管理」という機能も重要ですね。当アーカイブのインデックスを通じて、各施設のデジタルデータへリンクで飛べるようにしたり、非公開資料の場合は「この場所にはこのような資料がある」と簡単な情報を示すことで、閲覧者が求める情報にアクセスしやすい環境をつくりたいと考えています。常に最新情報に更新する必要がありますがあるので、情報の一貫性と管理をどう継続していくかが、当アーカイブ構築において最も困難かつ大切な部分です。

1D研の理念の象徴として...

私が2015年から取り組んでいる「Kadapa m(カダパン)」をはじめ

とする一連の情報システム開発は、地域課題解決を目指して企業・行政・大学が連携する共同研究のモデル事業でもありました。今回の松平公益会(中野武宮顕彰会)との協働もそうですが、学外との活発なスムーズな連携は、1D研が非常に重視しているところです。さらに今後は、「産官学+民」の重要性が増していくでしょう。地域の私たちと共有し、育て、誰もが参加できるプロジェクトを進める上で、1D研はますます理想的な拠点となるのではないでしょうか。

当アーカイブが独自に収集したデジタル化した情報と、既存のデジタルデータへのインデックス。この二本柱を軸に、ここからアクセスできる膨大な情報を様々な人がそれぞれの視点で活用して、まったく新しいサービスを創出してほしいと期待しています。同時に、ここは研究者同士の交流や連携を育む「リサーチファーム」であり、当アーカイブが、学内で加速するこうした分野融合と創発の機運の象徴になればうれしいですね。

イノベーションデザイン研究所の動画
右記のQRより確認できます。



FM香川 NEXT STAGEの動画
右記のQRより確認できます。



《研究シーズ活用のご相談は》

香川大学産学連携・知的財産センター

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

TEL.087-832-1672(代) FAX.087-832-1673

本学研究者の研究成果は、HPより確認できます。

<https://www.kagawa-u.ac.jp/faculty/centers/23894/>



かがアド 読者アンケート&プレゼント

読者の皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。
いただいたアンケート内容は今後の誌面づくりに活用させていただきます。

回答はこちらのQRから



アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で

香川大学オリジナルネクタイを
2名様にプレゼント

香川大学×SDGs
オリジナル付箋&クリアファイルセット
3名様にプレゼント

応募締切 2022年10月31日



ネクタイ5種類の中から1本お選びください。



学長賞「大学猫」

広報室長賞「5号館」

アイデア賞
「隙間から」

アイデア賞
「幸せの黄色いブーケ」

特別賞
「見え隠れ楓の先に精霊か」

第6回 香川大学フォトコンテスト Photo Contest 2022 Part 1

作品募集

香川大学内を撮影してInstagramで投稿しよう!

香川大学の魅力を伝える写真。被写体は風景、建物、人物、サークル・部活動の様子等、何でもOK。ただし、個人が特定される人物が含まれる場合、必ずご本人(被写体)の承諾を得た上で応募してください。応募者本人が撮影した、未発表の作品に限ります。

募集期間 2022.6.24(金) ▶ 9.30(金)

応募資格 香川大学生、卒業生、教職員など、どなたでもご参加いただけます。

問い合わせ先

香川大学広報室
TEL 087-832-1027
Email kouhou-h@kagawa-u.ac.jp

香川大学公式
Instagram

香川大学HP
応募方法ご案内



香川大学支援基金

香川大学の未来を
一緒に創っていきませんか

To the Future

ご寄附の方法が選べます

■クレジットカードや振込用紙など
寄附方法をお選びいただけます。

ご利用いただけるクレジットカードの種類は支援基金の
ホームページをご覧ください。

香川大学から感謝を込めて

■ご寄附いただいた方全員

ご了承を得て、ご芳名を大学ホームページ等に掲載いたします。

■個人10万円以上、法人・団体30万円以上寄附された方

感謝状と記念品の贈呈/銘板による顕彰
ご芳名の銘板を学内に掲示し、未永く顕彰いたします。

*ご支援いただいた方は税制上優遇措置が受けられます。

詳しくは、香川大学支援基金ホームページ

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kikin/>



FM香川

I ♥ RADIO 786



公務員 ★ 教員

採用試験のことなら

東京アカデミー 高松校

高松校 高松シンボルタワー 11F

RICOH

リコージャパン株式会社 香川支社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

MS&AD INSURANCE GROUP

高松支店

〒760-0042 香川県高松市大工町 1-1

☎ 087-822-6901



香川から新しい糖
世界に羽ばたく
希少糖

希少糖
とは?

その名のとおり希少な糖。
自然界にごくわずしか存在しない糖ですが、種類は多く
約 50 種類も存在することがわかっています。

無限の
可能性!

香川大学が、世界で初めてすべての希少糖の生産方法を
確立。「これまでの糖の常識をくつがえす」さまざまな
作用が明らかになりました。

食品をはじめとして、医薬、工業、化学、植物分野に至る
まで、現在も多様な研究が進められています。

希少糖「D-ブシコース(アルロース)」のはたらき

- ① カロリーゼロ
- ② 食後血糖の上昇をゆるやかに
- ③ 内臓脂肪の蓄積を抑える
- ④ 脂肪燃焼の促進
- ⑤ 虫歯になりにくい
- ⑥ 抗酸化性が高まる

*ブシコースはアルロースと呼ばれることもあります。

いい糖
11月10日は
希少糖の日

一般社団法人 希少糖普及協会
香川県高松市番町1-2-19 安西ビル4階
TEL (087)814-3333 FAX (087)802-1755

